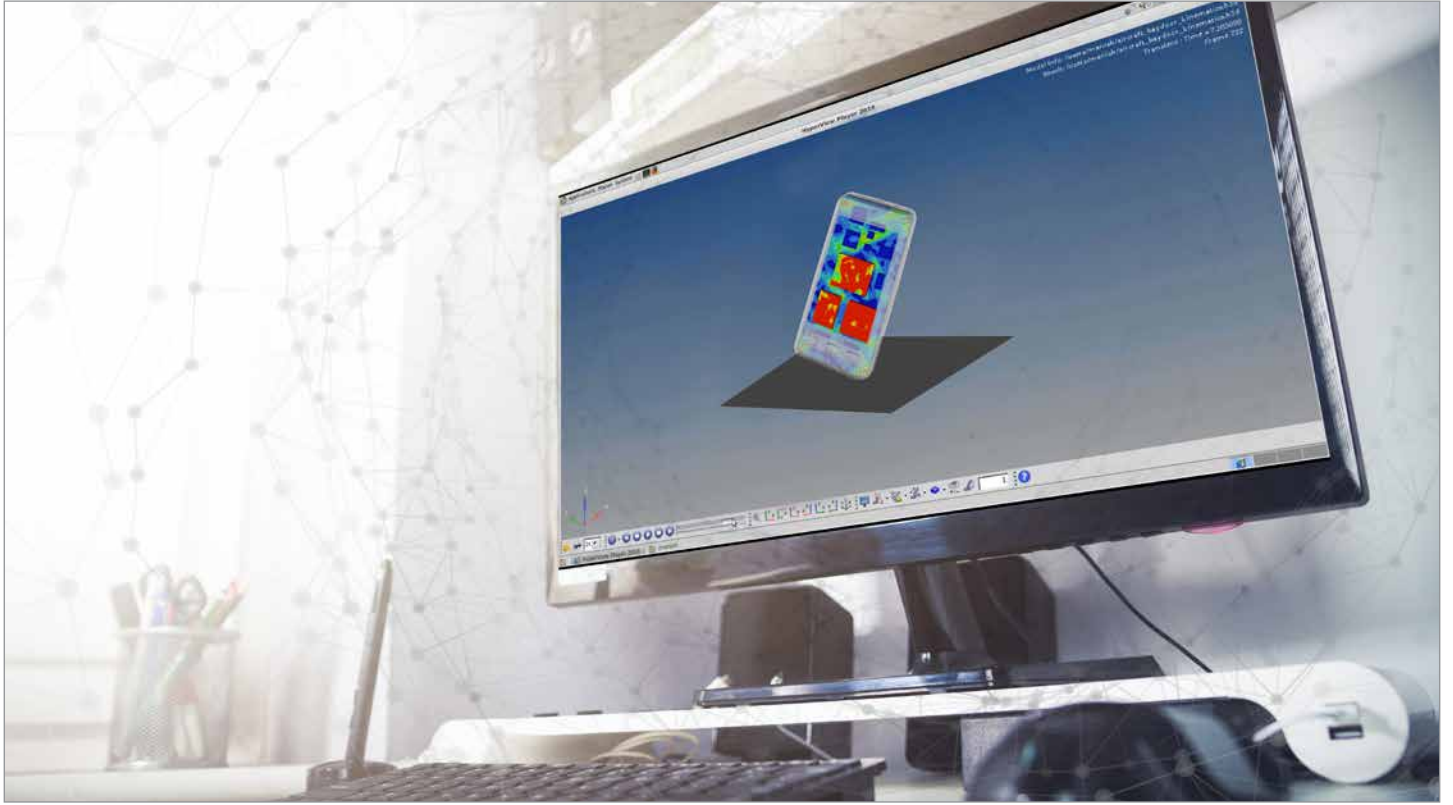


PBS Access

エンジニアと研究者のためのポータル



新しい PBS Access は、ジョブを投入するだけでなく、リモートクラスタやクラウドなどのリソース上のジョブ監視もできるポータルです。シンプルな操作性、強力な機能、一貫したインターフェースを備えています。エンジニアや研究者は PBS Access を使うことで、アプリケーションの操作方法の習得やデータ転送の負荷を減らし、本来の業務に集中できるようになります。リモートビジュアライゼーションとコラボレーションの機能により、データセンター用のハイエンドの 3D ビジュアライゼーションハードウェアへのアクセスが可能です。

製品の主な特長

- **新しいユーザーエクスペリエンス:** Windows のファイルエクスプローラーとシームレスに連携
- **柔軟性:** デスクトップ版および WEB 版
- **可視化:** コラボレーション作業に便利な 3D リモートビジュアライゼーション
- **管理のし易さ:** アプリケーションの追加、変更、削除が容易
- **セキュリティ:** HPC リソースにセキュアにアクセス
- **あらゆるレベルのユーザーに対応:** 専門的な IT スキルが不要

特長

- **HPC にスムーズに移行:** デスクトップアプリケーションから HPC にジョブを投入できるため、Linux やシェルスクリプトの習得や使用が不要
- **時間の短縮:** スマートでシンプルなインターフェースを持つ強力な GUI で、ジョブの投入と管理を簡略化
- **生産性の向上:** より多くの時間を、IT 関連のタスクではなく実作業に集中。たとえば、膨大なジョブファイルをダウンロードせずに、ジョブをグラフィカルに確認
- **ROI の改善:** アプリケーションへのアクセスを集中管理して、ライセンスの可用性を最適化
- **ミスの削減と一貫性の向上:** ジョブ投入に使用するアプリケーション定義に、自社のベストプラクティスの“ノウハウ”を埋め込み可能

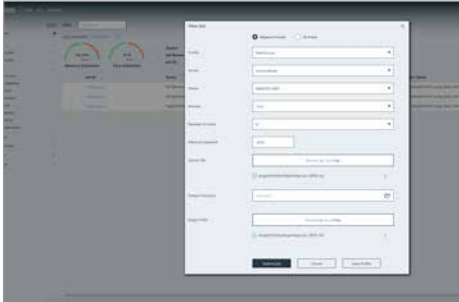
メリット

- エンジニア、科学者、研究者は WEB 版またはデスクトップ版の PBS Access を使用することで、HPC リソースにスムーズにアクセスして、ソルバーの実行、進捗確認、データ管理、3D リモートビジュアライゼーションを実行できます。IT の専門知識は必要ありません。
- PBS Professional との連携により、GPU や計算リソースへのアプリケーションのプロビジョニングを最適化して、リソースを最大限に活用
- トレーニング不要のシンプルで使いやすいインターフェースをアプリケーションごとに用意。管理が簡略化され、エンジニアは IT の問題ではなく自分の作業に集中可能
- リソースのモニタリングとアカウンティング: PBS Professional と PBS Analytics (powered by Carriots Analytics) の連携

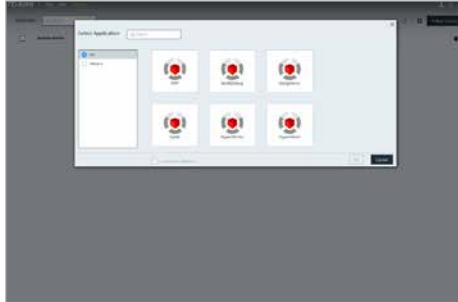
詳細はこちら:
<https://pbsgridworks.jp>

お問い合わせ

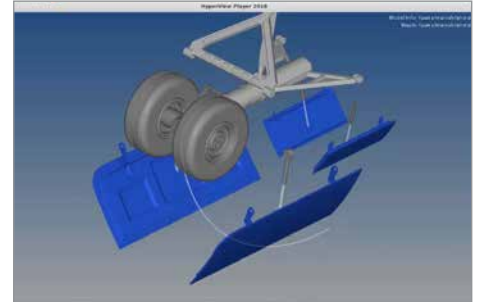
アルテアエンジニアリング株式会社
marketing@altairjp.co.jp



スマートでシンプルなインターフェイスを持つ強力な GUI で、
ジョブの投入と管理を簡略化



アプリケーションを簡単に追加・削除可能



WEB 版またはデスクトップ版から
3D リモートビジュアライゼーションにアクセス

- アプリケーションデータをダウンロードせずに表示、編集。遠隔地のユーザー同士で簡単にコラボレーション作業が可能
- 膨大なデータファイルをダウンロードすることなくリモートで可視化
- 簡単でわかりやすいデータコラボレーションツールで効率性を改善
- ハードウェアとソフトウェアを集約することで、リソースの使用率を最適化
- 実行中のジョブの膨大な結果ファイルをダウンロードすることなくファイルを修正
- エンジニアの IT 関連作業の負荷を軽減し、データ移動の問題ではなくエンジニアリング作業自体に集中

機能

ジョブの投入と監視:

- アプリケーションを簡単に追加、削除
- GUI やコマンドライン (tail -f コマンド) を使って、実行中のジョブの進捗を確認
- ジョブを簡単にフィルタリング、グループ化して、HPC ワークロードを明確に把握
- Web GUI のシンプルなドラッグ&ドロップのインターフェイスとデフォルト値の自動入力機能を使って、簡単にジョブを投入
- PBS Application Services (PAS) によりアプリケーションのジョブ投入画面を簡単に定義・設定

- 複雑なアプリケーションスクリプトの作成、変更、テストに必要な作業が最小限に
- よく使うアプリケーションと入力データをプロファイルとして保存

3D リモートビジュアライゼーションセッション:

- データ移動がゼロ: ピクセル情報のみを転送することで、データ転送にかかる膨大な時間を削減
- コラボレーション作業の迅速化: 膨大なデータでのコラボレーション作業を、使い慣れた対話型アプリケーションを通じていつでもどこにいても実施。WAN 接続を通じてセッションビューやコントロールを共有することで、遠隔地にいる同僚との協力が可能
- 密度の高い仕事: ネットワークの帯域幅とレイテンシに適応したデータ圧縮アルゴリズムにより、制約の厳しいネットワークの環境でも、密度の高い仕事が可能
- オープンアーキテクチャー: サードパーティー製アプリケーションと連携できるため、追加ソフトウェアの開発が不要
- リジリエンス: ネットワーク接続障害が発生した場合でも、リモートのアプリケーションセッションの連続性を確保
- 柔軟性: クライアントマシンが異なっても、オフィスや出向先、自宅などの複数の場所から同じリモートセッションにアクセス

リモートファイルとリモートデータの管理:

- リモートファイルとリモートデータをセキュアな WEB ポータルから直接管理
- クラスタのリモートファイルシステムにリアルタイムにアクセス
- リモートファイルを簡単にブラウズ、修正
- 使い慣れた標準的なファイル操作ツールを使用
- 入出力ファイルのステージングを自動化
- 膨大なデータセットをサーバーサイドで直接探索